

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和８年度第１回新里地域振興会議を次のとおり開催しました。

令和８年８月１０日

宮古市新里地域振興会議

- 1 開催日時
令和８年７月１６日（木） 午後６時３０分～午後７時３０分
- 2 開催場所
新里福祉センター１階 研修室
- 3 議題
(1) 新里地域バスの路線変更について
(2) その他
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
新里総合事務所地域づくり係 電話 0193-72-2111

令和8年度第1回新里地域振興会議

- 1 出席者（9名）
川崎賢一、佐々木久志、門坂道弘、澤口浩久、松尾芳広、神道あずさ、
伊東由美子、新川敦子、久保田将登
- 2 欠席者（3名）
飛澤和広、襦岩宗生、門坂寛子
- 3 事務局出席者（4名）
地域振興部長 襦岩邦行
新里総合事務所長 中野昇二
新里総合事務所地域づくり係長 山口博信
新里総合事務所地域づくり係主任 水梨仁希
- 4 傍聴者
なし
- 5 議事等
 - (1) 新里地域バスの路線変更について
新里地域バスの路線変更について、事務局から説明した。
 - (2) その他
令和7年度第3回会議での意見や質問に対して回答した。また、今後の新里地区のイベントについて報告した。

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題(1)「新里地域バスの路線変更について」】 (委員) 湯ったり館を経由することで何分くらい時間がずれるのか。 (委員) 湯ったり館に7時21分や8時20分に着くこととなっているが、この時間帯は湯ったり館は開いていないと思うが。 (委員) 北山地区は人口が少なく需要がないことによる休止か。 (委員) 今回の変更は岩手県立大学の調査報告がベースとなっていると思うが、報告書の中でみなさんに伝えたほうが良い内容はないか。	(事務局) 時刻表上だと新里総合事務所から湯ったり館までを2分で想定している。今後要望等あれば変更していく。 (事務局) これは岩手県北バスの茂市線の7時40分に接続するために設定しているものである。湯ったり館は確かに開いていないが、職員がいれば、中の買い物等はできないが、休憩に使えるよう湯ったり館と協議したい。 (事務局) 北山地区については実質1軒となっている。その方に地域バスの利用予定を聞いたところ、利用する予定はないとのことであった。地域バスは運行しないこととなるが、デマンドタクシー事業により、地域バスに乗るまでの区間を補完できる旨、北山地区の方には説明した。 (事務局) 調査報告書では、そもそもこの地域は公共交通を利用しようとする方々が多い地域ではなく、自家用車で移動したい方々が多い地域であるとのことであった。ついては、公共交通を利用する目的を作るため、湯ったり館にバス停を設置してみてはどうか、との提案であった。その続きで今年度も事業があり、湯ったり館でイベントを開催し、利用してもらうことで、乗り方や使いやすさを普及していく予定である。

(委員) 新里地域は、親が自家用車で子どもの送迎をしている場合がほとんどで、バスや列車の乗り方がわからない子どもたちが多いと思うので、学校で教えるなどしてほしい。大人になる前に勉強してほしい。 (委員) 高齢者の方でもバスの乗り方が難しいと言っている方もいるので、情報提供する。 (委員) 子どもたちの件で、道路交通法が変わって自転車もヘルメットを装着しなければならなくなった。最近中学生がヘルメット無しで速いスピードで走っているのを見かける。道路交通法の内容を勉強する機会が必要だと考える。ヘルメットを装着したくないのであれば、バスの利用を促すなどの取り組みも必要と考える。 【議題(2)「その他」】 (委員) 新里まつりの出店者について、毎年苦労していると思うが、新里地区の企業やイベントの写真等の展示スペースがあれば、新里地区の魅力の発信になると思うので、このようなものを実施してみてはどうか。 【その他】 (委員) 新里中学校区の運営協議会での話しであるが、山田線について1年の半分以上運休していることから公共交通機関の体をなしておらず、106急行による代替えもダイヤが限られており、特に高校生の通学に支障が出ている。刈屋や和井内地区の方々は車で送	(事務局) 委員のご指摘のとおり、公共交通係（政策推進課）で行った学校へのアンケートにおいて、乗り方がわからないとの回答が多くあった。公共交通係では、中学生用に無料の定期券を渡して乗車体験をしてもらうという取り組みをしている。 (事務局) 今後検討する。また相談させていただく。 (事務局) 大変貴重なご意見をいただいた。このような問題はいろいろな地域であるが、なかなか意見としては出てきていない部分である。川井地区も同様であるが、通学や通院など、移動手段を確保しなければ生活に支障が出る。様々な地域課題を吸い上げる場が地域振興
--	--

迎が常態化しているが、もし車を持てなければ市内まで通学することが困難になる。今後、山田線が無くなれば106急行しか手段がなくなるが、今のうちから通学難民を作らないような公共交通のあり方を考える必要がある。	会議であるので、積極的に議論していきたい。また、担当課にも情報共有する。
---	---